

## 「さいたま輝き荻野吟子賞」の 受賞を報告

2月25日、本市在住の足袋職人・<sup>くるす</sup>末栖智香子さんが市役所を訪れ、「さいたま輝き荻野吟子賞(さわやかチャレンジ部門)」を受賞したことを工藤市長に報告しました。

行田足袋の全ての製造工程を習得し、平成26年度に埼玉県伝統工芸士に認定された末栖さん。今回は、国内外にアピールできる新たな足袋作りへの挑戦や技術の継承に尽力している功績が認められ、同賞の受賞へとつながったそうです。工藤市長から「これからも行田の足袋を盛り上げていって欲しい」と激励の言葉を受けた末栖さんは、「伝統を守って履きやすい足袋を作っていきたいです」と抱負を語っていました。



## 趣向を凝らした企画で 来場者をお出迎え

2月21日、産業文化会館南側芝生広場で行田軽トラ朝市冬の感謝祭が開催されました。

地元の新鮮な農産物が低価格で手に入れることができるとあって、毎月大勢の方でにぎわう朝市。今回は冬の感謝祭として、カレーうどんの無料配布や商品を購入した方がピンポン玉をすくい、その数分だけ卵をプレゼントする企画など趣向を凝らした内容で来場者をもてなしていました。これから季節は春に変わり、軽トラックの荷台にはバリエーション豊かな品物がズラリと並ぶ予定です。生産者との会話を楽しみながら取れたての農産物などを求めに、毎月第3日曜日は少し早起きをしてみませんか。(午前8時～10時開催)※12月～2月は午前9時～11時



## 愛情込めて育てたサケの稚魚を放流

2月15日、(独)水資源機構利根導水総合事業所主催でサケの稚魚放流会が行われました。

今年は、中央小学校2年生の児童56人が参加。河川敷の清掃を行った後、サケの稚魚約2,000匹を放流しました。2カ月間、学校や自宅で育ててきた稚魚を利根川へ放した児童たちは、「バイバイ」「元気でまた会おうね」といつまでも見送っていました。



## ホールに響く、麗しのハーモニー

2月27日、「みらい」文化ホールで第20回行田市公民館ふれあいコーラス発表会が行われました。

市内の公民館で活動しているコーラスグループ16団体が舞台上に立ち、日頃の練習の成果を披露。「さくらさくら」「少年時代」など誰もが一度は耳にしたことのある曲を、出演者の皆さんは美しいハーモニーで歌い上げていました。今年は20回目を記念し、4人の講師による独唱も行われ、会場にいる誰もが充実した時間を過ごすことができたようです。



## 食と音楽を通じて 国際交流活動の第一歩

2月20日、VIVAぎょうだで「Friends Festival ～ともだちまつり～」と題した国際交流イベントが行われました。

このイベントは、さまざまな国籍の方との交流を深め、それぞれの文化などを理解することを目的に平成23年度から開催されています。今回の参加者は60人。豆腐を使ったパン作りやビルマ汁、ヤムウンセン、フムスといった多国籍料理の試食会、さらにはディズニー映画「アナと雪の女王」のテーマ曲であるLet it goを日本語だけでなく英語、韓国語、ポルトガル語で合唱するなどして、全員がこの交流会を楽しんでいました。食と音楽を通じて、参加者の皆さんは国際交流活動の第一歩を踏み出すことができたようです。



## けんらん 豪華絢爛に飾られた ひな人形に感激

2月26日から3月3日まで北河原公民館では、ひな祭りのイベントとしてひな人形が飾り付けられ、訪れた方を魅了しました。

この催しは4年前から実施され、今年も地域の方々の協力により、豪華絢爛なひな人形が並べられました。飾られたのは、7段飾り2組と御殿びなの他、吊るし雛や北河原小学校の児童による折り紙のおひな様など。28日は「ひな祭り演奏会」が行われるとあって大勢の方が同館を訪れ、和室に飾られたひな人形を見ると「とてもきれい」「今年是一段とすごいね」と思わず声を漏らし、感激している様子でした。



## こだわり溢れる手作りの品がズラリ

2月20日、アーツ&クラフツinぎょうだ2016が牧禎舎で開催されました。

アーティストがこだわって作った品が数多く並ぶとあって、雨にもかかわらず大勢の方が来場しました。来場者は、陶器や銀のアクセサリー、木製おもちゃなど個性豊かな品を吟味したり、木工や切り絵を体験したりとイベントを満喫。店主と交流を深めながら、ものづくりの魅力を再発見することができたようです。

